

2. 麦類・大豆 (1) 麦類(殺菌・殺虫剤)

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。
- ・希釈倍数150~750倍で散布の項目については、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用する場合があるので注意する。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法		毒性
アミスター2070アブル	アミキスト01ン水和剤	株腐病	原液	は種前	1回	塗沫処理	小麦	普
		紅色雪腐病				種子吹き付け処理		
ヒゲナン270アブル	チラム水和剤	なまぐさ黒穂病	乾燥種子1kg 当り原液20mL	は種前	1回	塗沫処理	小麦	普
		紅色雪腐病						
		斑葉病					大麦	
		網斑病						
シートラック水和剤	金属銀水和剤	なまぐさ黒穂病(小麦)	20倍	は種前	1回	10分間種子浸漬	麦類	普
			6倍			塗沫処理		
			乾燥種子重量の0.5~1.0%			種子粉衣(湿粉衣)		
		黒節病	20倍			10分間種子浸漬		
			6倍			塗沫処理		
			乾燥種子重量の0.5~1.0%			種子粉衣(湿粉衣)		
		斑葉病(大麦)	20倍			10分間種子浸漬		
			6倍			塗沫処理		
			乾燥種子重量の0.5~1.0%			種子粉衣(湿粉衣)		
		網斑病(大麦)	乾燥種子重量の1.0%			塗沫処理		
						種子粉衣(湿粉衣)		
		トリフィン水和剤	トリフィン水和剤			なまぐさ黒穂病		
斑葉病								
網斑病								
裸黒穂病								
ヘルトコート	チラム・ヘルミル粉剤	なまぐさ黒穂病	乾燥種子重量の0.5%	は種前	1回	種子粉衣	小麦	普
		株腐病					大麦	
		条斑病					小麦	
		斑葉病					大麦	
		裸黒穂病					小麦	
							大麦	

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。
- ・希釈倍数150~750倍で散布の項目については、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用する場合があるので注意する。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数 使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法		毒性	
ハル-ト水和剤 20	チラム・ハミル水和剤	なまぐさ黒穂病	200倍	は種前	1回	6~24時間 種子浸漬	小麦	普	
							麦類(小麦を除く)		
			20倍				10~20分間 種子浸漬		小麦
									麦類(小麦を除く)
		7.5倍	種子吹き付け処理(種子消毒機使用)			小麦			
						麦類(小麦を除く)			
		乾燥種子重量の0.5%				種子粉衣	小麦		
							麦類(小麦を除く)		
		条斑病	200倍				6~24時間 種子浸漬		小麦
									麦類(小麦を除く)
			20倍			10~20分間 種子浸漬			小麦
									麦類(小麦を除く)
		7.5倍	種子吹き付け処理(種子消毒機使用)				小麦		
							麦類(小麦を除く)		
		乾燥種子重量の0.5%				種子粉衣	小麦		
							麦類(小麦を除く)		
		斑葉病	200倍				6~24時間 種子浸漬		小麦
									麦類(小麦を除く)
			20倍			10~20分間 種子浸漬			小麦
									麦類(小麦を除く)
		7.5倍	種子吹き付け処理(種子消毒機使用)				小麦		
							麦類(小麦を除く)		
		乾燥種子重量の0.5%				種子粉衣	小麦		
							麦類(小麦を除く)		
裸黒穂病	200倍	6~24時間 種子浸漬	小麦						
			麦類(小麦を除く)						
	20倍		10~20分間 種子浸漬	小麦					
				麦類(小麦を除く)					
7.5倍	種子吹き付け処理(種子消毒機使用)	小麦							
		麦類(小麦を除く)							
乾燥種子重量の0.5%		種子粉衣	小麦						
			麦類(小麦を除く)						

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。
- ・希釈倍数150~750倍で散布の項目については、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用する場合があるので注意する。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法		毒性
アミスター2070アフル	アグキストロン水和剤	うどんこ病	2000~3000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	小麦	普
		黄斑病	2000倍					
		赤さび病	2000~3000倍					
カググリーン	炭酸水素カルシウム水溶剤	うどんこ病	500倍	収穫前日まで	-	散布	麦類	普
シルバキアアフル	テココザール水和剤	うどんこ病	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布	大麦	普
			2000倍	収穫7日前まで			小麦	
		なまぐさ黒穂病	1000倍	根雪前	1回		大麦	
		赤かび病	2000倍	収穫14日前まで	2回以内		小麦	
			500倍	収穫7日前まで				
		赤さび病	2000倍	500倍	1回		大麦	
			500倍					
		雪腐小粒菌核病	1000~2000倍	根雪前	1回		小麦	
			500倍					
		網斑病	2000倍	収穫14日前まで	2回以内		大麦	
フルト乳剤25	アロコザール乳剤	うどんこ病	2000~3000倍	収穫21日前まで	1回	散布	大麦	普
			1000倍	収穫3日前まで	3回以内		小麦	
		紅色雪腐病	750~1000倍	根雪前	2回以内		大麦	
		赤かび病	1000~2000倍	収穫21日前まで	1回		小麦	
			1000~3000倍	収穫3日前まで	3回以内			
		250~500倍	雪腐小粒菌核病	150倍	根雪前		2回以内	
				750~1000倍				
		網斑病	1000倍	収穫21日前まで	1回		大麦	
トップシシムゾル	チオファネートメシル水和剤	赤かび病	1000~1500倍	収穫14日前まで	3回以内(出穂期以降は2回以内)	散布	小麦	普
			1500倍		3回以内(出穂期以降は1回以内)		麦類(小麦を除く)	

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。
- ・希釈倍数150~750倍で散布の項目については、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用する場合があるので注意する。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法		毒性
トップジンM水和剤	チオファネートメチル水和剤	うどんこ病	1000~2000倍	収穫14日前まで	3回以内(出穂期以降は2回以内)	散布	小麦	普
				収穫30日前まで	3回以内(出穂期以降は1回以内)		麦類(小麦を除く)	
		赤かび病	1000~1500倍	収穫14日前まで	3回以内(出穂期以降は2回以内)		小麦	
				収穫30日前まで	3回以内(出穂期以降は1回以内)		麦類(小麦を除く)	
		250倍	収穫14日前まで	3回以内(出穂期以降は2回以内)	小麦			
					雪腐病		1000~2500倍	
		3回以内(出穂期以降は2回以内)	小麦					
			トップジンM粉剤DL	チオファネートメチル粉剤	赤かび病		3~4kg/10a	
4kg/10a	3回以内(出穂期以降は1回以内)	麦類(小麦を除く)						
トリフィン水和剤	トリフィン水和剤	うどんこ病	1000~2000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	麦類	普
		赤かび病						
トリフィン乳剤	トリフィン乳剤	うどんこ病	1000倍	収穫3日前まで	3回以内	散布	小麦	普
		赤かび病						
ハシタック水和剤75	メフロニル水和剤	さび病	1000~1500倍	収穫30日前まで	2回以内	散布	麦類	普
		雪腐小粒菌核病	750~1500倍	根雪前				

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。
- ・希釈倍数150~750倍で散布の項目については、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用する場合があるので注意する。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法		毒性
ミレックスフロアブル	ピジフルメフェン水和剤	うどんこ病	1500倍	収穫7日前まで	2回以内	散布	小麦	普
		赤かび病	1500~2000倍	収穫14日前まで			大麦	
				収穫7日前まで			小麦	
			250~500倍					
		赤さび病	1500~2000倍					
網斑病		収穫14日前まで	大麦					
ワークアップフロアブル	メトキサゾール水和剤	うどんこ病	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	麦類	普
			500倍					
		黄斑病	2000倍					
			500倍					
		赤かび病	2000~3000倍					
			500~750倍					
		赤さび病	2000倍					
			500倍					
雪腐小粒菌核病	2000倍							
	500倍							
網斑病	2000倍							
	500倍							
ワークアップ粉剤DL	メトキサゾール粉剤	うどんこ病	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	麦類	普
		赤かび病						
		赤さび病						
		網斑病						
スミチオン乳剤	MEP乳剤	アブラムシ類	1000倍	収穫7日前まで	1回	散布	小麦	普
			250倍				大麦	
		アワヨトウ	1000倍				小麦	
						小麦		
						大麦		
スミチオン粉剤2DL	MEP粉剤	アブラムシ類	4kg/10a	収穫14日前	1回	散布	麦類	普
スミトップM粉剤	MEP・チオファネートメシル粉剤	アブラムシ類	4kg/10a	収穫14日前まで	1回	散布	小麦	普
							うどんこ病	
		ヒメビウカ					麦類(小麦を除く)	
		ムギアカタマハエ					麦類(小麦を除く)	
	小麦							
赤かび病	麦類(小麦を除く)							
		小麦						
		麦類(小麦を除く)						

(2)大豆(殺菌・殺虫剤)

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性
キゲン	チラム水和剤	タバエ	乾燥種子重量の1%	は種前	1回	種子粉衣		普
		ハト						
		紫斑病						
キゲンR-2フロアブル	チラム水和剤	タバエ	乾燥種子1kg当り原液20mL	は種前	1回	塗沫処理		普
		紫斑病						
		苗立枯病						
クルザ-FS30	チアチサム水和剤	アラムシ類	乾燥種子1kg当り原液6mL	は種前	1回	塗沫処理		普
		タバエ						
		ネキムシ類						
		フタジヒメムシ						
クルザ-MAXX	チアチサム・フルジ・オキソニル・メタキシルM水和剤	アラムシ類	原液	は種前	1回	塗沫処理	乾燥種子1kg当り8mL	普
		タバエ						
		ネキムシ類						
		フタジヒメムシ						
		リゾクトニア根腐病						
		茎疫病						
		黒根腐病						
		紫斑病						
		白絹病						
		苗立枯病(ビシム菌)						
ヘントト水和剤20	チラム・ヘノミル水和剤	紫斑病	乾燥種子重量の0.2~0.4%	は種前	1回	種子粉衣		普
ランマンフロアブル	シアゾファミド水和剤	茎疫病	原液	は種前	1回	種子塗沫	種子重量の1~2%	普
ゾルト-	銅水和剤	紫斑病	500倍	-	-	散布		普
		斑点細菌病						
		葉焼病						
ゾルト-粉剤DL	銅粉剤	茎疫病	3kg/10a	-	-	散布		普
		紫斑病						
アミスター20フロアブル	アジキストロピン水和剤	べと病	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普
		紫斑病	2000~3000倍					
		腐敗粒	2000倍					
ゲッター水和剤	ジエトフェンカルブ・チオファネートメシル水和剤	紫斑病	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布		普
ジマンダセン水和剤	マンゼブ水和剤	べと病	400倍	収穫45日前まで	3回以内	散布		普
		紫斑病	400~600倍					
トイホルト-DF	銅水和剤	斑点細菌病	500倍	-	-	散布		普

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性
トイロアブル	テブフロキ水和剤	紫斑病	1000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布		普
ハリタシ液剤5	ハリタマイシ液剤	葉焼病	500倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普
ファンタジスタアブル	ヒリハンガル水和剤	菌核病	1000～2000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普
		紫斑病						
フェスティバルC水和剤	ジメメル銅水和剤	べと病	600倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普
		茎疫病						
		斑点細菌病						
		葉焼病						
フェキアブル	ヒリタクメル水和剤	紫斑病	3000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布		普
ハンコセブ水和剤	マンゼブ水和剤	べと病	400倍	収穫45日前まで	3回以内	散布		普
		紫斑病	400～600倍					
ハンレート水和剤	ハンミル水和剤	菌核病	1000～2000倍	収穫前日まで	4回以内	散布		普
		紫斑病						
ライメイアブル	アミルブロム水和剤	べと病	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普
		茎疫病	2000～4000倍					
ランマンアブル	シアゾファミド水和剤	べと病	1000～2000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普
		茎疫病						
リゾレックス水和剤	トルクロホメル水和剤	白絹病	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	土壌灌注		普
リドミルコールドMZ	マンゼブ・メタキシルM水和剤	べと病	500倍	収穫45日前まで	3回以内	散布		普
		茎疫病						
アタブロン乳剤	カルフラスロン乳剤	オタハコガ	4000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布		普
		ハスモントウ	2000～4000倍					
アルパリン粉剤DL	シノテラン粉剤	カメシ類	3kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布		普
		ダインサタマルエ						
		フタジヒメハシ						
イクシートアブル	スルホキサフロム水和剤	カメシ類	2000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布		普
エルサン乳剤	PAP乳剤	アラムシ類	1000～2000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		劇
		カメシ類	1000倍					
		シイモシマダラメカ	1500～2000倍					
		ツメクサガ	1000倍					
		ハスモントウ						
		マメシクイカ						
キラップアブル	イチブロール水和剤	カメシ類	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普
キラップ粉剤DL	イチブロール粉剤	カメシ類	3kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布		普

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性
グレーシア乳剤	フルキサミド [®] 乳剤	ウコンノメイカ [®]	2000～3000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布		普
		オオタバコカ [®]						
		ハスモンヨトウ						
		ハダニ類						
		フタスジヒメハムシ						
		マメシクイカ [®]						
スターケイト液剤10	ジネフラン液剤	カメムシ類	1000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普
		ダズサヤマハエ						
		フタスジヒメハムシ						
スターケル液剤10	ジネフラン液剤	カメムシ類	1000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普
		ダズサヤマハエ						
		フタスジヒメハムシ						
スターケル粉剤DL	ジネフラン粉剤	カメムシ類	3kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布		普
		ダズサヤマハエ						
		フタスジヒメハムシ						
スミチオン乳剤	MEP乳剤	アブラムシ類	1000～2000倍	収穫21日前まで	4回以内	散布		普
		ウコンノメイカ [®]	1000倍					
		カメムシ類						
		シロイモシマダラメイカ [®]						
		ダズサヤマハエ						
		マメシクイカ [®]	1000～1500倍					
		マメハシヨウ	1000倍					
マメヒメヤムシガ [®]								
スミチオン粉剤3DL	MEP粉剤	カメムシ類	4kg/10a	収穫21日前まで	4回以内	散布		普
ゼンタリ顆粒水和剤	BT水和剤	ハスモンヨトウ	1000倍	発生初期 但し、収穫前日まで	-	散布		-
トロン乳剤	イトフェン [®] ロックス乳剤	アブラムシ類	1000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布		普
		ウコンノメイカ [®]						
		カメムシ類						
		シロイモシマダラメイカ [®]						
		ダズサヤマハエ						
		ツメクサガ [®]						
		ハスモンヨトウ						
		フタスジヒメハムシ						
		マメシクイカ [®]						

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性
トボロン粉剤DL	イトフェンプロックス粉剤	アブラムシ類	4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布		普
		カメムシ類						
		シロイモシマダラメイガ						
		ダイズサヤマハエ						
		ハスモンヨトウ						
		フタスジヒメハムシ						
		マメシクイガ						
ニツラン水和剤	ヘキサチアゾックス水和剤	ハダニ類	2000～3000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普
ネクリエースK	イソキサチオン粒剤	ネクリムシ類	3kg/10a	は種時～本葉2葉期	2回以内	土壌表面株元処理		普
ノモルト乳剤	テフルハンスロン乳剤	ハスモンヨトウ	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布		普
フェニックスフロアブル	フルベシアミド水和剤	ウコンノメイガ	4000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普
		オオタバコガ						
		ツメクサガ						
		ネクリムシ類						
		ハスモンヨトウ	2000～4000倍					
ブランドム乳剤25	ジフェノキサール乳剤	紫斑病	3000～5000倍	開花後～収穫7日前まで	2回以内	散布		普
プレオフロアブル	ヒリタリル水和剤	オオタバコガ	1000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普
		シロイモシヨトウ	1000～2000倍					
		ハスモンヨトウ						
		マメシクイガ						
プレバソフロアブル5	クワラントラニリブロール水和剤	ウコンノメイガ	4000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普
		オオタバコガ						
		ハスモンヨトウ						
		マメシクイガ						
プロフレアSC	プロフレニリド水和剤	ウコンノメイガ	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布		普
		オオタバコガ						
		シロイモシヨトウ						
		ダイズサヤマハエ						
		ツメクサガ						
		ハスモンヨトウ						
		フタスジヒメハムシ						
		マメシクイガ						
		マメハシヨウ						
ハネビード	シアントラニリブロール水和剤	アブラムシ類	2000～4000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普
		ハスモンヨトウ						
		マメシクイガ						

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性
マトリックプロアブル	クマフェンゾド水和剤	ハスエンヨトウ	2000～3000倍	収穫前日まで	3回以内	散布		普
マラソン乳剤	マラソン乳剤	アブラムシ類	1000～3000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普
		コガネムシ類						
		ハダニ類						
		マメシクイガ	1000倍					
ミネクトエクストラSC	シアントラリアロール・ルフェエロン水和剤	カメムシ類	10000～12000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普
		ハスエンヨトウ						
		マメシクイガ						
ロムダソプロアブル	テブフェンゾド水和剤	ハスエンヨトウ	2000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布		普
アミスタートレボンSE	イトフェンプロックス・アツキストロビン水和剤	アブラムシ類	1000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布		普
		カメムシ類						
		ハスエンヨトウ						
		マメシクイガ						
		紫斑病						
トライレボン粉剤DL	イトフェンプロックス・テブプロキン粉剤	カメムシ類	3～4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布		普
		ダイズサヤマハエ						
		ハスエンヨトウ						
		アタシヒメハムシ						
		マメシクイガ						
		紫斑病						
コガネコンプラス	アルミゲルアダイアモルア剤	オオタバコガ	100～120本/10a(22g/100本製剤)	対象作物の栽培全期間		作物の生育に支障のない高さに支持棒等を立て支持棒にディスプレイを巻き付け固定し圃場に配置する。		普
		ヨトウガ						

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性
コフューザ-V	アルミゲル・ウハル・タ・イモル・ア・ビート・ア・ミル・ア・リトル剤	オタハ・コガ	100~200本/10a(41g/100本製剤)	対象作物の栽培全期間		作物の生育に支障のない高さに支持棒等を立て支持棒にディスプレイを巻き付け固定し圃場に配置する。		普
		シロイモシ・ヨトウ	100本/10a(41g/100本製剤)					
		ハスモンヨトウ ヨトウガ	100~200本/10a(41g/100本製剤)					
フィロテ [®] インSL	リトル剤	ハスモンヨトウ雄成虫	2~4個/ha	成虫発生初期から発生終期まで		本剤をトラップ1台当り1個を取付けて配置する。取付けた薬剤は1.5~2ヶ月間隔で更新する。		普
ヨトウコン-H	リトル剤	ハスモンヨトウ	20~200m/10a(20cmチーブ [®] の場合100~1,000本)	成虫発生初期から終期まで		露地(作物上に支柱等を用いて固定する。)		普

(3) 除草剤
麦類

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫 雑草名	希釈倍数使用 用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	適用土壌	備考	毒性
MCPソーダ 塩	MCPAナトリ ウム塩液剤	麦類	一年生及 び多年生 広葉雑草	200～ 300g/10a	(秋播麦 類)幼穂形 成期 但し 収穫45日 前まで	1回	雑草茎葉 散布又は 全面散布			普
カイトック細 粒剤F	ペンテ イタリン・リ ニロン 粉粒剤	小麦 大麦	一年生雑 草	5～ 6kg/10a	は種直後 (雑草発生 前)	1回	全面土壌 散布	砂壤土～ 埴土		普
カイトック乳 剤	ペンテ イタリン・リ ニロン 乳剤	小麦 大麦	一年生雑 草	500～ 800mL/10 a	は種直後 (雑草発生 前)	1回	全面土壌 散布	砂壤土～ 埴土		普
加ナクス	グリホサート イソプロピ ルアミン塩液剤	小麦 麦類(小麦 を除く) 小麦 麦類(小麦 を除く) 小麦	多年生休 科雑草 一年生雑 草	250～ 1000mL/1 0a 250～ 500mL/10 a	耕起前又 はは種前 まで(雑草 生育期:草 丈30cm以 下) は種後出 芽前(雑 草生育期) 耕起7日前 まで(雑草 生育期) 耕起前又 はは種前 まで(雑草 生育期:草 丈30cm以 下)	3回以 内 1回 3回以 内 1回 3回以 内	雑草茎葉 散布			普
ガレスG	ジフルエカ ントリフル リン粉粒剤	小麦(秋播 栽培) 大麦(秋播 栽培) 小麦(秋播 栽培) 大麦(秋播 栽培)	畑地一年 生雑草	4～ 5kg/10a	は種後発 芽前(雑草 発生前) 小麦1～2 葉期(雑草 発生前～ 発生始期) 大麦1～2 葉期(雑草 発生前～ 発生始期)	1回	全面土壌 散布	全土壌(砂 土を除く)		普

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫 雑草名	希釈倍数使用 用量	使用時期	本剤の使用回 数	使用方法	適用土壌	備考	毒性
ガレス乳 剤	ジフルフェカ ン・トリフルリ ン乳剤	小麦	一年生雑 草	200 ~ 250mL/10 a	は種後出 芽前(雑草 発生前)	1回	全面土壌 散布	全土壌(砂 土を除く)		普
		大麦(秋播 栽培)								
キック・ク 細粒剤F	プロスルカ ブ・リニロン 粉粒剤	小麦(秋 播)	一年生雑 草	3 ~ 4kg/10a	は種後出 芽前(雑草 発生前)	1回	全面土壌 散布	全土壌(砂 土を除く)		普
		大麦(秋 播)								
クリアタン細 粒剤F	ベンチカー ブ・ペン デイメタリ ン・リニロン粉 粒剤	小麦	一年生雑 草	4 ~ 5kg/10a	は種直後 (雑草発生 前)	1回	全面土壌 散布	全土壌(砂 土を除く)		普
		大麦								
クリアタン乳 剤	ベンチカー ブ・ペン デイメタリ ン・リニロン乳 剤	小麦	一年生雑 草	500 ~ 700mL/10 a	は種直後 (雑草発生 前)	1回	全面土壌 散布	全土壌(砂 土を除く)		普
		大麦								
ゴ-ゴ-サ 細粒剤F	ペンデイメ タリ粉粒剤	麦類	一年生雑 草	5 ~ 6kg/10a	は種後出 芽前(雑草 発生前)	1回	全面土壌 散布			普
ゴ-ゴ-サ 乳剤	ペンデイメ タリ乳剤	小麦	一年生雑 草	300 ~ 500mL/10 a	は種後(雑 草発生前) ~小麦2葉 期(イ科雑 草1葉期ま で)	1回	雑草茎葉 散布又は 全面土壌 散布			普
		大麦			は種後出 芽前(雑草 発生前)		全面土壌 散布			
					生育期(雑 草発生前) 但し収穫 60日前ま で		雑草茎葉 散布又は 全面土壌 散布			
ザク液剤	グルホシネ ートPトリウム 塩液剤	小麦	一年生雑 草	300 ~ 500mL/10 a	耕起又は は種前(雑 草生育期)	1回	雑草茎葉 散布			普
		大麦			収穫7日前 まで(雑草 生育期)					
		小麦								
		大麦								
サートン 乳剤	プロメリン ・ベンチカー ブ乳剤	麦類	一年生雑 草	500 ~ 750mL/10 a	は種直後 ~麦出芽 前	1回	全面土壌 散布			普

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫 雑草名	希釈倍数使用 用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	適用土壌	備考	毒性		
タッチアップ iQ	グリホサート 塩液剤	小麦(秋播)	一年生雑草	250～ 500mL/10 a	は種後出 芽前(雑草 生育期)	1回	雑草茎葉 散布			普		
		大麦										
		小麦(秋播)									耕起又は は種前(雑 草生育期)	3回以 内
		大麦										
		小麦(秋播)									収穫3日前 まで(雑草 生育期)	1回
		大麦									収穫7日前 まで(雑草 生育期)	3回以 内
小麦(秋播)	多年生休 科雑草	500～ 1000mL/1 0a	耕起3日以 前(雑草生 育期)	1回								
トリアイ ド 乳剤	トリフリン 乳剤	小麦	一年生雑 草(ツクサ 科、カツ グサ科、サ サ科、ア ヲ科を除く)	200～ 300mL/10 a	は種後出 芽前～生 育期(雑草 発生前～ 雑草発生 始期)但 し、収穫45 日前まで	2回以 内	雑草茎葉 散布又は 全面土壌 散布			普		
		麦類(小麦 を除く)										
トリアイ ド 粒剤 2.5	トリフリン 粒剤	麦類	一年生雑 草(ツクサ 科、カツ グサ科、サ サ科、ア ヲ科を除く)	4～ 5kg/10a	は種後出 芽前～3葉 期(雑草発 生前～雑 草発生始 期)	2回以 内	雑草茎葉 散布又は 全面土壌 散布	砂壤土～ 埴土		普		
							全面土壌 散布					
ハモニ-細 粒剤F	フェンソル フィン粉粒 剤	小麦	スズメテ ホウ	4～ 5kg/10a	は種後～ 麦3葉期 (雑草発生 前～発生 始期)	1回	全面土壌 散布	全土壌(砂 土を除く)		普		
		大麦										
		小麦	一年生広 葉雑草									
		大麦										
ハサラン 液剤(ナリ ム塩)	ベンザン 液剤	小麦	一年生雑 草(イ科を 除く)	100～ 200mL/10 a	生育期 但 し 収穫45 日前まで	1回	雑草茎葉 散布又は 全面散布			普		
		麦類(小麦 を除く)									生育期 但 し 収穫90 日前まで	

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫 雑草名	希釈倍数使用 用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	適用土壌	備考	毒性
バスタ液剤	ゲルホネート 液剤	小麦	一年生雑 草	300 ~ 500mL/10 a	は種後出 芽前(雑草 生育期)	1回	雑草茎葉 散布			普
		大麦			耕起前・は 種前・は種 後出芽前 (雑草生育 期)					
		小麦			収穫7日前 まで(雑草 生育期)					
		大麦								
		小麦		300 ~ 750mL/10 a	耕起前・は 種前(雑草 生育期)	1回				
バンバン細 粒剤F	エプロカ ブ・ジフル フェニカ粉 粒剤	小麦(秋 播)	一年生雑 草	3 ~ 5kg/10a	は種後出 芽前～出 芽揃期(雑 草発生前)	1回	全面土壌 散布	全土壌(砂 土を除く)		普
		大麦(秋 播)								
ホクサー	プロスホル ブ乳剤	小麦	一年生雑 草	400 ~ 500mL/10 a	秋播栽培 のは種後 ～麦2葉期 (雑草発生 前～発生 始期)	2回以 内	雑草茎葉 散布又は 全面土壌 散布			普
		大麦								
		小麦			秋播栽培 の麦2～4 葉期(雑草 発生前～ 発生始期)					
ムギレン ジャー乳剤	プロスホル ブ・リニロン 乳剤	小麦	一年生雑 草	300 ~ 600mL/10 a	秋播栽培 のは種後 出芽前(雑 草発生前)	1回	全面土壌 散布			普
		大麦								
ラントアッ プマックスロ ード	グリホサート カリウム塩液剤	麦類	一年生雑 草	200 ~ 500mL/10 a	は種後出 芽前(雑草 生育期)	3回以 内	雑草茎葉 散布			普
			一年生雑 草及び多 年生イネ科		耕起前又 はは種前 まで(雑草 生育期)					
			一年生雑 草							
			一年生雑 草及び多 年生イネ科							
			一年生雑 草							

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫 雑草名	希釈倍数使 用量	使用時期	本剤の 使用回 数	使用方法	適用土壌	備考	毒性	
リペーター-G	ジフルフェカ ン・フルフェ セット粒剤	小麦(秋播 栽培)	一年生雑 草	4～ 5kg/10a	は種後～ 麦2葉期 (雑草発生 前～イ科 雑草1葉期 まで)	1回	全面土壌 散布	全土壌(砂 土を除く)		普	
		大麦(秋播 栽培)									
リペーターフ ロアブル	ジフルフェカ ン・フルフェ セット水和剤	小麦	一年生雑 草	60～ 80mL/10a	は種後～ 麦3葉期 (雑草発生 前～イ科 雑草1葉期 まで)	1回	雑草茎葉 散布又は 全面土壌 散布	全土壌(砂 土を除く)		普	
		大麦(秋播 栽培)									
草枯らし	グリホサート ソルビル ミン塩液剤	小麦	多年生イ 科雑草	250～ 1000mL/1 0a	耕起前又 はは種前 まで(雑草 生育期)	3回以 内	雑草茎葉 散布			普	
		麦類(小麦 を除く)	一年生雑 草	250～ 500mL/10 a	は種後出 芽前(雑草 生育期)	1回					
		小麦				3回以 内					
		麦類(小麦 を除く)			耕起7日前 まで(雑草 生育期)	1回					
		小麦			耕起前又 はは種前 まで(雑草 生育期)	3回以 内					
					250mL/10 a	収穫7日前 まで(雑草 生育期)					
				多年生雑 草	500～ 1000mL/1 0a	耕起7日前 まで(雑草 生育期)					1回

大豆

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫雑草名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	適用土壌	毒性
アタックショット乳剤	フルチアセトメチル乳剤	だいず	一年生広葉雑草	30～50mL/10a	本葉2葉期～開花前(雑草生育期)但し、収穫45日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面散布		普
エトトップP細粒剤F	ジメナミドP・リニロン粉粒剤	だいず	一年生雑草	4～6kg/10a	は種後出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	全土壌(砂土を除く)	普
エトトップP乳剤	ジメナミドP・リニロン乳剤	だいず	一年生雑草	400～600mL/10a	は種後出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	全土壌(砂土を除く)	普
加ナクス	グリホサートイソプロピルアミン塩液剤	だいず	一年生雑草	250～500mL/10a	は種7日前まで(雑草生育期) は種後出芽前まで(雑草生育期:草丈30cm以下) 畦間処理:雑草生育期(草丈30cm以下)但し、収穫前日まで	2回以内	雑草茎葉散布		普
クリアタン細粒剤F	ヘンチカーブ・ヘンティメタリン・リニロン粉粒剤	だいず	一年生雑草	4～5kg/10a	は種直後(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	全土壌(砂土を除く)	普
クリアタン乳剤	ヘンチカーブ・ヘンティメタリン・リニロン乳剤	だいず	一年生雑草	500～700mL/10a	定植3日前まで(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	全土壌(砂土を除く)	普
				500～800mL/10a	は種直後(雑草発生前)				
ザク液剤	グリホサートイソプロピルアミン塩液剤	豆類(種実)	一年生雑草	300～500mL/10a	収穫28日前まで(雑草生育期)は種・定植前又は畦間処理)	3回以内	雑草茎葉散布		普
サートンP細粒剤	プロメトリン・ヘンチカーブ粒剤	だいず	一年生雑草	4～6kg/10a	は種後～出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布		普
サンダーホルト007	グリホサートイソプロピルアミン塩・ピラフルフェン水和剤	だいず	一年生雑草	400～600mL/10a	は種後出芽前(雑草生育期) 畦間処理:雑草生育期但し、収穫前日まで 耕起前又はは種10日前まで(雑草生育期)	2回以内	雑草茎葉散布		普
セレクト乳剤	クレトジム乳剤	だいず	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	35～50mL/10a	雑草生育期(イネ科雑草3～5葉期)収穫50日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面散布		普
			一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	50～75mL/10a					

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫雑草名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	適用土壌	毒性
タッチウニQ	グリホサートカリウム塩液剤	だいず	一年生雑草	250 ~ 500mL/10a	は種後出芽前(雑草生育期)	2回以内	雑草茎葉散布		普
					畦間処理:雑草生育期 但し、収穫前日まで				
			コウキガラ		耕起又はは種7日以前(雑草生育期)				
			一年生雑草						
			一年生広葉雑草	2倍	生育期(雑草生育期) 但し、収穫7日前まで		雑草茎葉塗布		
トリアサイト乳剤	トリフルリン乳剤	だいず	一年生雑草(ツユクサ科、カツリグサ科、キ科、アブラ科を除く)	200 ~ 300mL/10a	は種後出芽前	1回	全面土壌散布		普
					は種前		全面土壌混和		
					生育期 但し、収穫45日前まで		畦間土壌散布		
					定植前(植穴掘前)		全面土壌散布		
トリアサイト粒剤2.5	トリフルリン粒剤	だいず	一年生雑草(ツユクサ科、カツリグサ科、キ科、アブラ科を除く)	4 ~ 6kg/10a	は種後出芽前	1回	全面土壌散布	砂壤土 ~ 埴土	普
					生育期 但し、収穫45日前まで		畦間土壌散布		
					定植前(植穴掘前)		全面土壌散布		
ナブ乳剤	セトキシム乳剤	だいず	一年生イネ科雑草(スメノカビラを除く)	150 ~ 200mL/10a	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期 但し収穫30日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面散布		普
				200mL/10a	雑草生育期イネ科雑草6~8葉期 但し収穫30日前まで				
				250 ~ 300mL/10a	雑草生育期イネ科雑草9~10葉期 但し収穫30日前まで				
ハスタ液剤	グルホシネート液剤	だいず	一年生雑草	300 ~ 500mL/10a	耕起前・は種前・は種後出芽前・定植5日前まで(雑草生育期)	3回以内	雑草茎葉散布		普
					収穫28日前まで(株間処理:本葉5葉期以降雑草生育期)				
					収穫28日前まで(畦間処理:雑草生育期)				

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫雑草名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	適用土壌	毒性
ハワガザ液剤	イザモックスPモニウム塩液剤	だいず	一年生雑草	200 ~ 300mL/10a	出芽直前～3葉期まで(雑草発生始期～2葉期) 生育期(雑草発生揃期～2葉期)但し、収穫30日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面土壌散布 畦間雑草茎葉散布		普
フィルスターP乳剤	ジメナミドP乳剤	だいず	一年生雑草(アカ科・アブラ科・クサ科を除く)	75 ~ 120mL/10a	は種後出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布		普
フィルスター乳剤	ジメナミド乳剤	だいず	畑地一年生雑草(アカ科・アブラ科・クサ科を除く)	100 ~ 150mL/10a	は種後発芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	砂土を除く全土壌	普
ホルトプロアブル	キザロホップEチル水和剤	だいず	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	200 ~ 300mL/10a	雑草生育期(イネ科雑草の3～10葉期)収穫30日前まで	2回以内	雑草茎葉散布又は全面散布		普
ラウトアップマックスロード	グリホサートカリウム塩液剤	だいず	一年生雑草	200 ~ 500mL/10a	耕起前又は出芽前まで(雑草生育期) 収穫前日まで(雑草生育期:畦間処理)	2回以内	雑草茎葉散布		普
ラカー乳剤	アラクロール・リニロン乳剤	だいず	一年生雑草	400 ~ 800mL/10a	は種後出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布		普
ラカー粒剤	アラクロール・リニロン粒剤	だいず	一年生雑草	4 ~ 8kg/10a	は種後出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布		普
ラッソ乳剤	アラクロール乳剤	だいず	一年生雑草	300 ~ 600mL/10a	は種後出芽前	1回	全面土壌散布	全土壌	普
ロックス	リニロン水和剤	だいず	一年生雑草	100 ~ 200g/10a	は種直後～出芽前(雑草発生前～発生始期) 本葉3葉期以降但し、収穫30日前まで(雑草生育期)	1回	全面土壌散布 雑草茎葉兼土壌散布(畦間・株間処理)		普
ワンクロスWG	フルアジホップP・リニロン水和剤	だいず	一年生雑草	200 ~ 300g/10a 250 ~ 300g/10a	本葉3葉期以降(雑草生育期)但し、収穫45日前まで は種後出芽前(雑草発生前)	1回	雑草茎葉兼土壌散布(畦間・株間処理) 全面土壌散布		普

注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和7年10月1日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫雑草名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	適用土壌	毒性
ワザイト P乳剤	フルアジホップ P乳剤	だいず	シバムギ	100mL/10a	雑草生育期(イネ科雑草5~8葉期)但し、収穫60日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面散布		普
			レットトップ						
			一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	75~100mL/10a	雑草生育期(イネ科雑草8~10葉期)但し、収穫60日前まで				
			シバムギ						
			レットトップ	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期)但し、収穫60日前まで					
			一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)						
シバムギ	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期)但し、収穫60日前まで								
レットトップ									
草枯らし	グリホサートイソプロピルアミン塩液剤	だいず	一年生雑草	250~500mL/10a	は種7日前まで(雑草生育期)	2回以内	雑草茎葉散布		普
					は種後出芽前まで(雑草生育期)				
					畦間処理:雑草生育期 但し、収穫前日まで				
大豆バクテリア液剤(ナトリウム塩)	ベンチアミン液剤	だいず	一年生雑草(イネ科を除く)	100~150mL/10a	だいずの2葉期~開花前(雑草の生育初期~6葉期)但し収穫45日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面散布		普
				300~500mL/10a	だいずの生育期(雑草の生育初期~6葉期)但し収穫45日前まで				